

令和5年度 第2回 牛津高等学校 学校魅力強化委員会（学校運営協議会）議事録

「佐賀県立学校における学校運営協議会の運営に関する要綱」第8条第2項に基づき、次のとおり、第1回 学校魅力強化委員会（学校運営協議会）の会議録を公表します。

開催日 令和5年6月5日（月） 於 牛津高等学校会議室

開催時間 17：35～18：20

出席者数 委員 10名 事務局3名 教育振興課1名 SAGA コラボ校内委員4名 生徒代表2名

出席者氏名 委員：長戸、高元、野口、横尾、戸村、大坪、金森、ドジソン、江頭

事務局：福島、古川、北村 佐賀県教育委員会事務局教育振興課：細國

SAGA コラボ校内委員：峯、永益、江口、高岸 生徒：前生徒会長、家庭クラブ会長

【会議の内容】

1 開会

2 協議

(1) 魅力発信について今までの状況（主幹）

昨年度の取り組み

- ・昨年度初めに、牛津高校 YouTube チャンネルの開設
- ・チャンネルの紹介のチラシを近隣の中学校に配布
- ・21 個の動画を製作し配信

課題と対策

- ・視聴数の伸びが期待ほどではなかった
→他の SNS などの媒体の利用を含めて生徒会に相談
→まずは、中学校2年生が学校調べに活用すると考えられる学校ホームページの更新

現状

- ・YouTube チャンネルの動画のアップは昨年度の後半より新しいものがあげられていない。
- ・ホームページについては更新をされていると感じる

(2) これからの魅力発信について

（会 長）今までのことに関して、ご質問とか確認したいことがあったらご自由をお願いします。
生徒さんたちも来ているので言いたいことがあったら言ってください。

（委員1）配布資料を見せてもらっていますが、これらの動画にサムネはついてますか？サムネがあったら引き付けられるのではないかと思います。作る予定とかはありますか？

（主 幹）そういうご意見いただけたら、取り組んでみたいと思います。

（委員1）サムネがあればどのようなことなのかが一目でわかります。インパクトのある題名があれば見てみようとなるのでは。今の学生さんはサムネからはいりますよね。サムネは必要だと思います。

（生徒1）題名が少し硬すぎるかなと思う。

（会 長）もう少し、遊び心があってもよいのかもしれないね。

（委員1）学生さんとかが、名前を付けるとよいかもしれません。自分だったらこういうのを見るなという

のを作ってみたら楽しいんじゃないでしょうか。

(委員2) ちなみにこれらは、学生さんたちがあげることはできますか。先生たちの検閲などがはいたりするのでしょうか。

(会長) チェックはあるでしょう。

(委員2) 撮影するのは先生たちですか。

(主幹) これらの動画は、昨年度の主幹が撮影して編集してアップをしたということでした。

(会長) 去年も生徒会の方々と少し一緒に考えているといわれていたかと思うのですが、まだ、そこまで深くは関わっていないのでしょうか。

(生徒1) そうですね。どうのを取りたいという話はしていましたが、異動されたのでちょっと止まってしまった感じです。

(会長) その辺の引き継ぎも難しいですね。まあ、せっかくチャンネルを作ったので、人が見たくなるようなものを。中身ではない部分にちょっと手を加えてみるというのは伸びるきっかけになるかもしれませんね。

(委員2) 外部のメディアの方の指導だとか、こういったボランティアなど、外部の人が入ることはあまり、ないのでしょうか。撮影の時とか、編集の時とか、アドバイスをもらうとか。

(主幹) そういったものを県がしていただけるとありがたいとは思っていますが。

(校長) そういう要望はしています。

(委員2) 本来あってしかるべきですよ。

(主幹) 教員がするのも、上手なわけでもないのが難しい。そういう専門の方のサポートがあれば大変ありがたいのですが... もし、この中に得意な方がいらっしゃればぜひお願いします。

(会長) 予算がないというのはなかなか厳しいですね。確かに、時々でも指導してもらえることができればコロッと変わると思います。教育委員会の人に少し考えていただきたい部分かもしれませんね。

(振興課) 県としても、今年は牛津高校さんではないのですが、別の2校を強化モデル校として、少し予算をつけて、制作とかをしています。一応先生たちに向けてもSNSの研修会を夏休みに行く予定です。そのあたりで、動画の撮影とかSNSやインスタの活用の仕方などについて学んでいただけたらと思っています。

(委員2) ちなみに、どこの高校ですか。

(振興課) 太良高校と唐津青翔高校です。まだ、動画などはできていません。これから作成していくことになります。

(委員1) このようなものに生徒さんを絡めていくと、撮り方だったり、どのようなものがひきつけられるのかとか、生徒のほう詳しくかたりしますね。

(会長) 多分、対象にしたいのがこれから受験していく人たちなので年の近い人のほうがよいでしょうね。興味や考えがちかいでしょうから。

(委員3) 多分、普通に子供たちに作らせたなら今でも上手に作っています。ただ、そこがどこまで先生たちが介入するか、あまりに厳しく言われたら自由にできないし、でもチェックは必要です。

(会長) あまり自由すぎると... どこかに限度は必要です。限度の引き方はむずかしいですね。

(委員3) チェックをしてもらいつつも、子供たちにさせれば、先生たちの負担もなくなるので良いと思います。

- (会 長) 私も思いっきり生徒さんたちに入ってもらったほうが良いと思います。大人の発想ではなく同年代の発想のほうが良いと思います。
- (委員4) もちろん中学生向けも大事であるが、保護者向けも必要では。ちょっと、学校を大人の目線で見たいものを先生が作るものもあったほうが良い。ちょっと硬い動画があってもよいと思います。
- (会 長) それがどちらかわかるように、サムネで区別してもよいですね。
- (委員1) 動画は1分半ぐらいと決まっていますか？
- (主 幹) ながくならないように自分でルールを決めてあったのかなと思います。
- (委員1) (生徒へ) YouTube はどのくらい見ますか？
- (生徒1・2) 見ません。
- (生徒1) YouTube よりも、Instagramとか TikTok をみてしまいます。YouTube は1つ1つが長くて、ちょっとした待ち時間とかに見るにはインスタとかのほうが見やすいです。
- (委員1) インスタとか TikTok とかをやるのはどうでしょうか。
- (生徒1) 去年インスタとかをしたいという話もあったのですが、まずは、ホームページの更新が滞っていたので、そっちを進めていこうということになりました。今はYouTubeにも、ショートという機能があって10秒、20秒で見れるものがあります。
- (委員1) インスタの利用は多いですね。
- (生徒1) 私たち年代は、圧倒的にインスタの利用が多いと思います。
- (委員1) インスタとかが盛り上がってくれば、そこにYouTubeを貼り付けることもできます。
- (振興課) インスタの解説については、他の学校でされているところが結構あって、運用に関しては学校のほうで決めていただくということになっています。YouTubeについては、県のほうからアカウントを各学校に割り振っています。
- (会 長) ということは、適切な範囲で利用することは問題ないということですね。そして、そのあたりは生徒さんたちのほうが詳しいので一緒にしたほうが効率が良いそうですね。
- (会 長) 次に何を発信すればよいかということについてできるだけたくさんあげてください。
- (委員5) 今日の前半で行った制服検討委員会でいろいろ工程について資料があったのですが、そういう制作過程を動画や画像で残してあったりするのでしょうかということと、年代代からみて、自分の高校生だった時、私学の生徒さんたちがしているリボンがかわいくて生徒会に上がったのですが、変わらなかった経験があるので、さきほどの話は感動的でした。他の高校や中学生がいいなと思える制服や、この資料にあった制作過程とかで生徒さんたちがこれだけ関わって、生徒主体で成し遂げようとしているというのがすごくいいとおもいました。3年生がいるうちに、これらの工程について、それこそ長めのYouTubeを生徒さんたちと作られたら良いのではないかと思います。
- (会 長) 制服検討の部分の発信の予定はありますか？発信の話は前にもした気がしますが。
- (主 幹) ぜひ、作っていきたいとは思っています。制服屋さんのデモなどにも制作過程を入れてもらうように聞いてみたいと思います。どのくらい映像が残っているかは確認しないといけませんが、やってみてみたいと思います。
- (会 長) 確か制服検討委員会を作った時から、発信の話はずっとしていたような気がするのですが、多分、まだ、どういう形でするのか整理できていないんだと思います。メーカーさんがいらっしやるから、アドバイス受けながらするのよいかもかもしれませんね。

- (主 幹) 今度の60周年記念式典の時に発表になるので、その時にも何らかの形で提示できるようにしたいと考えています。
- (会 長) 記念式典で発表して、そのあと、YouTube に流すこともできますね。
- (委員1) メディアに渡すとか。ニュースに出すとか。
- (委員2) ちなみに、プライバシーというか、生徒さんの肖像権については、もともと保護者さんにご了解とかとられているのでしょうか。
- (主 幹) 新しいのを作った時にはその都度とらないといけないのかなと思っています。
- (委員2) 包括的、つまり、最初の入学式の時ということではなくということですか。
- (主 幹) 入学式の時にとってはいます。もし、遠目だけではなく、人がわかる場合はとらないといけないといけないのか私も模索しているところです。
- (委員2) 自分の塾で小学生の場合、保護者のほうから最初からやめてくださいといわれるので、その子たちを外して撮影したりしています。
- (主 幹) ボランティアで保育園に行った場合は、子どもたちを写さないようにして作らないといけない場合もありました。
- (委員2) 高校生も18歳になればいいのでしょうか。
- (会 長) 一応成人なので、法的には問題はありません。親権がある場合は同意が必要です。
- (主 幹) 外部の方のイベントでは、必ず申し込みを受けとる時に、テレビ等に映る可能性があるから必ず保護者の同意を得ているので、そのような形をとれば問題はないのかなと思っています。
- (会 長) 法的な話をする、必ずしもすべて個別にとる必要はないと思います。中学校も包括的にやっていますが、きちんとできておけば、よほど特定の人ばかり写るという場合は別ですけども、みんなが1人で写る場合については、同意されていけば問題はないと思います。YouTube に写るのが前提で同意をとればですが。例えば、この子中心に撮りますということになると違ってくるかもしれません。
- (主 幹) そういう時は、保護者に同意を得れば可能ということですか。
- (会 長) 成人であればよいのですが、ただ、まだ18歳になったばかりなので保護者に同意をとったほうが無難かもしれません。16歳や15歳は理解できるので、本人の同意が無効というのではなくて、保護者の同意がないと不十分だというように考えておけばよい。後から保護者の同意をとればよい。ですから、入学の時や学年が変わるときに一応包括的に撮っておかれた方が高校の場合はよいかもしれません。
- (主 幹) 一応としてはいますが、提示している内容を検討していく必要はあると思います。YouTube に載せるとかという文言も含めて、作成がしやすくなるように検討していきたいと思います。
- (会 長) 魅力的なコンテンツということで何かありませんか。気になっているのはやはりファッションショーですね。あれは取材も入りますし。ロングバージョンの YouTube を作れるのではないかと思います。
- (委員1) 今アップしているものの中で、いくつか「牛津高校に来て何ができる」というふうに書いてあるものがありますが、「卒業時にこの資格が取れる」とか「何ができる」というのを中心に作っていくのもよいのかもしれない。「調理師免許が取れる」とか「服飾1級」が取れるとか、何かしらのゴールがあってもよいかなと思いました。今のものはすべて授業の風景だと思うので。
- (会 長) 確かにゴールがあった方がわかりやすいかもしれませんね。

(委員3) 残念ながら、今の若者は YouTube ではなくて、TikTok から気になったら YouTube に移動するという傾向があります。ひとつ思いついたことがあるのですが、どこかの高校が制服披露を面白おかしく、ファッションショー風に撮っていて、先ほどの制服検討委員会で男の子と女の子がされていたように撮っていたのですが、すごくバズっていたのを見たことがあります。今の子供たちは TikTok から YouTube、インスタグラムから YouTube へという人が多いので、YouTube だけを一生懸命頑張っても、なかなか伸びないのかなと思います。

(会 長) 要は、入り口ですね。

(委員3) 肖像権は難しい問題だと思いますが、例えば、もし、先ほどの二人が同意してくれたら、発信ができるし、「TikTok に牛津高校がある！」ということになって、注目されるのではと思う。先ほどの高校の TikTok 見てみたが、生徒が自由にしている楽しそうだった。ただやりたい放題ではなく、先生が撮影するなどして、先生の笑い声も入っていて、雰囲気がとてもよかった。残念ながら牛津高校はそのようなイメージではなく厳しい古いイメージがついているので、それを払拭したいとも思う。私たちにとっては、とてもすばらしいところがあるので。

(会 長) 学校の雰囲気をどう伝えるかですね。

(委員3) そうです。そんなイメージじゃないよということを伝えたい。私自身は、前の制服もとても好きです。親にとっては、とても清楚でかわいいと思うのですが、子どもたちにとっては、人気がないところがあります。制服も新しくなりましたし、TikTok なども含めて、新しい風を吹かせて、YouTube を伸ばしましょう。(委員1へ) 先ほどピンポイントですばらしいことを言っていたので、アドバイザーになっていただけるといいのですが。ほんとうに感心しました。

(生徒へ) 子供たちも、できることならもっと発信したいよね。やりたい放題はだめだけど。先生のご指導の下にね。

(生 徒) はい。

(会 長) よほどひどい発言や表現がない限りは制限にはならないと思います。表現の自由もありますし、そういうものを作ってみてもよいかもしれません、YouTube をどこかに置かないといけなくなりますね。内容をいっぱい作っても誰も見に来なければ意味がない。

(委員3) 牛津高校に学校パンフレットはありますか？

(校 長) あります。

(会 長) 今日のまとめとしては、どうやって見てもらうかという時に、まず入り口をどうにかしないと、ホームページを作っても見てもらえない。受験する人は見るでしょうけど。もう少しどうにかするためには、SNS などを学校に許可してもらうことも必要なのかもしれませんね。バズる動画をとにかく1つ作っておくと取扱い掛かりにはなるのかもしれません。

(委員1) 他の学校にはないファッションショーの動画がないのが悲しいですし、ドレスとかせっかく作った生徒の作品とか、生活経営科が校外に実習に出ているところとか、音楽劇とか、そのような動画も加えていけば、他の学校にない魅力を発信できるのではと思います。

(会 長) ファッションショーとかも思いっきり肖像権の問題が出てくるとは思うのですが、肖像権に関する手間を省いてしまうと、作れなくなってしまいます。そこを惜しまないことは大切です。

(委員3) (配布した学校新聞の「各科の3年生のある1日」の欄を見ながら)「食品調理科の生徒のある1日」にある料理は、私には作れないものです。もったいない。もっと発信してもらいたい。

(委員1) 動画を扱うのが難しくても、写真をつなげて作ることもできます。作ったものをつなげていくと

かもできる。それに文字を入れていって、動画と組み合わせることもできます。

(委員3) (生徒へ) 忙しいとは思いますが、1回作ってみて、先生たちにどうですかと聞いてみたらどうですか。

(会 長) 確かに生徒さんが作ってきたら、イメージがどんどん変わると思います。発信は難しいですね。1回、実際に作ってみた方がよいのかもしれないですね。話だけではなかなかイメージが沸かないかいです。インスタグラムとか TikTok などは生徒さんに関わってもらった方が早い気がします。

(委員3) 高校のアカウントを作らなくても子供たちが自分たちのアカウントで作った動画をみせて、どんなものかを知ってもらい判断してもらってもよいのでは？それからアカウントを作ればよいと思う。

(会 長) 学校からアップする場合は、学校の責任の所在とか学校の同意を得なければならないという部分があると思うのですが。

(委員3) 出すときは、もちろん学校に見てもらってからです。試作を見てもらおうという意味です。校長先生にも生徒と一緒に踊ってもらおうと、生徒も喜ぶだろうと思います。

(会 長) 先生たちが踊るといいうのもあるかもしれませんね。

(校 長) 学校がどうという前に、どのようなことができるのか見せてもらいたいと思う。

(委員3) 子供たちの方が上手なので見てもらったらよいと思う。

(会 長) その場合も、1人2人ではなく幅広く募集してみると、アイデアもいろいろ出るかもしれませんね。まずは、こんなことができるんだということがわかってからですね。

(委員2) 学校の中にインスタグラムとか動画上げる場所とかありませんか。学校の内部だけで共有できる場所という意味です。

(校 長) そういうフォルダを作ることはできます。

(委員2) そこに作って入れてもらえばいいのでは。生徒さんたちもデータを入れられますよね。

(校 長) 前生徒会長さんにロゴを作ってもらったことがありますけどデータを入れてもらいました。

(会 長) たくさんの意見がでましたね。今日の話は一例なので、他にも思いつくことがあれば、学校にたくさん情報を提供していただけたらと思います。今日出た意見は、これから学校のほうで検討されていくと思います。では、これで協議会を閉めたいと思います。

(3) その他

(事務局) 第3回の日程調整の紙に都合のよい時間帯に○を記入してお知らせください。

3 閉会

【添付資料】

○昨年度のSAGA コラボレーション・スクール報告書・計画書より抜粋

○牛津高校チャンネルのチラシ

○牛津高校チャンネルにアップしている動画の一覧